

ぎかい



2025.2.3

小国町議会だより 第163号

小国町

新春号

雪と 生きる！

裏表紙に詳しくインタビュー掲載
しています。御覧ください！

スマホからも
ご覧いただけます！



12月定例会 補正予算8件 全員一致可決!!

主な内容

- 議員と語る会 2ページ～
- 臨時会 定例会 4ページ～
- 一般質問5名登壇 6ページ～
- 米坂線署名提出 15ページ～

小国町議会

ホームページ <http://www.town.oguni.yamagata.jp/gikai/index.html>
e-mail gikai@town.oguni.yamagata.jp

小国町議会

検索

若い世代の活動に焦点を当て「議員と語る会」を実施しました。皆さんからいただいたご意見を参考に政策提言へと結び付けていきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。



移住者コミュニティつむぐ

【テーマ】 小国町に住んで感じたこと
～必要な移住政策は～

【日時】 令和6年11月18日(月)

【場所】 アスモ3階 多目的ホール

【主なご意見】

- 移住は来てもらうことだが、必要なのは定住施策であると考えている。
- 町のイベントはすべてラインで周知してほしい。
- 移住者は、ほかの自治体と比較して自然豊かな小国を選んでいることを伝えたい。
- 創業支援はあるが、事業を継続する支援がない。



- 町でSNSを活用した空き家バンクを作してほしい。
- アパートが少ない。
- 新しく建物を作るのもいいが、今あるものの利活用をしてはいかかが。クラウドファンディングも検討したらどうか。
- 町のホームページをもっとわかりやすくしてほしい。
- 諸団体への支援が少ない。持続可能性を考えて支援策を講じてほしい。
- 室内の子供の遊び場が欲しい。

後列左より

小関 和好・間宮 尚江・伊藤 弘行

前列左より

佐々木 佑馬・加藤 真央・舟山 康名・佐藤 咲希
(敬称略)



【主なご意見】 ● 小国に住んでいて社会の役に立っていることが味わえる。働く喜びを感じている。
● 健康を求めて移住する方が多いと思うので、町中心部に温泉施設があったらいい。

- 自分のやりたいことをみつけないニーズが増えている。マルチワークとしては、3か月ごと様々な仕事ができる体制をつくっていききたい。
- 町の移住施策に、マルチワーク事業を組み込むことが必要ではないか。
- カップルが楽しめる場所があればいい(イルミネーション・お風呂カフェ)
- 新鮮な野菜が手に入るスーパーが欲しい。
- 買い物する場所が少なく、移住者が困るのではないか。



若い世代と語る

小玉川青年回イテコロ

【テーマ】 地域の課題を探る
～雪の中の大冒険について～

【日時】 令和6年11月9日(土)

【場所】 おぐに開発総合センター研修室

【主なご意見】

- せっかく作った雪の回廊が、一日のイベントで終わるのがもったいない。観光協会など関係機関の力もお借りしながら、せっかく作ったものを1週間くらい楽しんでもらえる仕組みが作れないだろうか。関係機関とのパイプ役が欲しい。
- 旧小玉川小中学校のトイレや窓ガラスの修繕が必要ではないか。

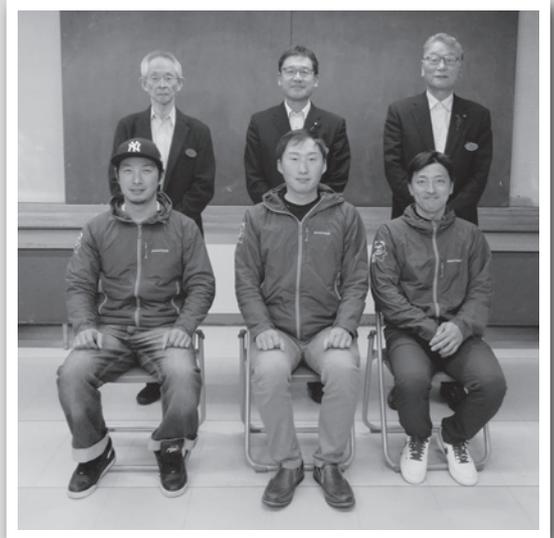


後列左より

高野 健人・柴田 伸也・小林 嘉

前列左より

佐藤 聡・舟山 達哉・舟山 和樹
(敬称略)



- 梅花皮荘と川入荘、飯豊山荘をもっと充実させたらいいのでは。小玉川は3次産業の拠点となり得る。若い人たちの就職先にもつながるのでは。
- 子どもの遊び場が少ない。小国ならではの、野外アスレチック施設もあってもいいのではないか。

おぐにマルチワーク事業協同組合

【テーマ】

外から見た小国町
～マルチワーク事業の成果と課題～

【日時】 令和6年11月29日(金)

【場所】 カモスク

後列左より 渡邊 重信・石山 久美子・遠藤 和彦
前列左より 清水 康也・小林 光・吉田 悠斗・富山 祐介
(敬称略)



アスモ再構築調査始まる!

町長 (株)いきいき街づくり公社社長に就任!

主な補正予算

総務費	白い森ふるさと応援基金	6000万円
	奨学金返還支援事業	101万円
民生費	認定こども園施設型給付費	3442万円
衛生費	病院事業会計負担金	3億円
農業費	新規就農者育成総合対策事業	750万円
	アスモ活用基礎調査事業	400万円
商工費	観光交流施設整備等	737万円
	神明山公園支障木伐採業務	200万円

12月定例会 あらまし

12月定例会は、12月5日から11日までの7日間の日程で開催された。補正案件8件、損害賠償1件、人事案件1件を原案通り可決した。一般質問では、5名の議員が町政全般について町当局の考えを質した。



(通称: 県社山)

伐採が決まった
神明山公園支障木

人事案件

小国町副町長
阿部 英明氏(再任)
任期 令和7年1月1日から
令和10年12月31日まで

陳情者

令和6年度建設振興に関する要望書
一般社団法人山形県建設業協会
会長 大田 政往
一般社団法人西置賜建設業協会
会長 那須 正

陳情者

山形県立小国高等学校への支援拡充について
県立小国高等学校を支援する会
会長 安部 昌晴

陳情者

山形県商工団体連合会
会長 佐藤 順子
中小業者地域経済の振興を図るため
中小商工業者への施策拡充を求める
要請書

陳情者

日本理科教育振興協会
会長 大久保 昇
令和7年度理科教育施設整備費等
補助金予算計上についてお願い
公益社団法人

主な陳情

令和6年10月21日

第7回 臨時議会

主な補正予算

- 灯油等購入費……………220万円
- 松岡合口頭首工流木撤去等工事費……………250万円

条例の制定

- 小国町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

工事請負契約の締結

- 小国町役場庁舎空調改修工事請負契約の締結について

株式会社高橋工務店

代表取締役社長 高橋 恭史

163,570,000円

令和7年3月28日完成予定

- (仮称)小国町次期総合センター

建設工事請負契約の締結について
山和・高橋・那須特定建設工事
共同企業体

2,453,000,000円

令和8年3月31日完成予定

令和7年1月8日

第1回 臨時議会

主な補正予算

- 賃金等の引き上げ
人事院勧告を受け一般職員の月例給及び
勤勉手当、特別職の期末手当

社会福祉扶助費

住民税非課税世帯に対する生活支援

子育て加算分……………2400万円

……………100万円



▲整地が進む次期総合センター

年頭の
ごあいさつ



小国町議会議長

安部 春美

明けましておめでとうござ
います。

町民の皆様におかれま
しては、輝かしい初春をお迎
えのこととお慶び申し上げ
ます。

今後も議会一丸となり、
町民一人ひとりの声に耳を
傾け、付託にしっかりと応
えていく所存であります。

本年が皆様に豊かな実り
をもたらし、輝かしく飛躍
できる年になりますことを
心よりご祈念申し上げます、新
年のあいさつといたします。

定例会一般質問とは？



議員が地方公共団体の事務について、執行機関に対し、事実または所信を質すこと。

一般質問は議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論争であり、質問する議員も、受ける執行機関もともに十分な準備が必要である。執行機関に対する事前の通告制が採用される。

どなたでも傍聴できます。是非お越しください！

渡邊重信議員

8ページ

- 1 儲かる農業の確立について

柴田伸也議員

9ページ

- 1 中心商店街空き店舗の利活用について

間宮尚江議員

7ページ

- 1 スポーツ振興について
- 2 社会教育委員の職務について
- 3 生涯学習について

小関和好議員 10ページ

- 1 日本一を維持する施策を
- 2 事故防止対策について

小林嘉議員 11ページ

- 1 JR米坂線岩井沢踏切付近を横断する流雪溝の保全について

町政を質す 一般質問5名登壇

本会議及び一般質問の内容は、インターネットで録画をご覧ください。

https://oguni-town.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_days_list&gikai_id=139





- 1 スポーツ振興における専門指導員の養成策と町民プールの今後は
- 2 「社会教育委員」へ期待される役割は
- 3 次期総合センターを拠点とする生涯学習への条件整備は



ま みや ひさ え
間宮尚江議員

1 専門員の確保は

問宮 「おぐにスポーツクラブYUUI」との積極的な事業連携は認識できているが、未来の小国町のスポーツを支える専門指導員の確保、人財育成の方策は十分か。

外部人材の登用も試みる

教育長 指導者講習会への派遣、地域おこし協力隊の募集を行っているが、依然課題である。

福祉分野との連携事業への評価は

健康福祉課長 健康スポーツ教室の開催を通じて健康増進に繋がること期待される。

町民プールの老朽化への対処は

問宮 稼働率を調査しても小中学校の水泳授業が

多い。老朽化したシャワー室や更衣室の整備が必要ではないか。

整備を検討する

町長 小学校のプール授業は必須であり、夏の遊び場としても必要である。

おぐに開発総合センターの跡地利用も含めて一帯の整理の中で老朽化したプールの整備を検討する。

2 社会教育委員の職務は

問宮 ※教育委員会より委嘱される社会教育委員は、地域の教育力向上にどのように関わっていくべきか。

教育委員会への助言を行う

教育長 例年3回の会議を開催し、教育推進計画や生涯学習事業やスポー

ツ推進事業に対するご意見をいただいている。学校運営協議会の傍聴や学校パートナーとしての活動、社会事業への協力などを依頼していきたい。

3 生涯学習への条件整備を

問宮 町民一人ひとりが個々、もしくは集団で行う生涯学習の視点から、どのような機能を次期総合センターに備えていくのか。

環境を整える

町長 生活に有意義な情報を発信し、興味関心のある事柄を選び、活かせる環境を整えながら、町民の生涯学習を支える。

※社会教育委員：社会教育法15条の規定により、教育委員会に助言するためその職務を担う。社会教育行政に地域の意見等を反映させるために設けられた制度である。小国町社会教育委員条例が制定されている。



1 希望が持てる 農業政策を



わた なべ しげ のぶ
渡邊重信 議員



米農家の減少が課題

渡邊 世界的な食糧危機の中で、気候変動、自然災害、更には高齢化、農業用機械や肥料高騰で農業従事者にとっては厳しい経営状態が続いている。このような状況では、後継者や新規就農者が将来に希望が持てない。高齢化と後継者対策は。

地域計画を策定中

町長 新規就農者には国の制度と、町単独事業で令和6年も2名に支援した。移住希望者向けのイベントも行い後継者育成を進めていく。

渡邊 増加する耕作放棄対策は。

遊休農地を解消

町長 これまでの水田活用直接支払交付金の

支払い期限が5年間で終了。5年水張りルールが耕作放棄の要因。遊休農地保全対策事業において希望する農業者に引き継ぎ、支援すると共に山形県中間管理機構による遊休農地解消事業の導入を検討するなど対策に取り組む。

渡邊 農業用機械・肥料等高騰対策は。

町長 これまで、種子購入費、肥料代、飼料代への補助を行っている。為替や人件費の高騰もあり国県の動向も見極め、本町の農畜産業の安定的な経営継続に努める。

米農家の所得を上げる政策が急務

渡邊 小国産米のブランド化により、米農家の意欲、所得を上げる

政策が必要だ。小国町の基幹産業を守る為にも農家、農地の集約化と、安定所得確保の為に企業化が必要。財源としてふるさと納税を活用できないか。

「山形95号」のブランド化

町長 小国町農業委員会から農業政策として意見書も頂いている。課題はまとまった数量の確保である。売り先は地域商社を活用し、しっかりと確保していく。

ブランド化には物語が必要

渡邊 小国町の米の特徴は、「飯豊・朝日の湧き出る源流水で作られた大自然の香り」と考える。自信をもって取り組んで頂きたい。

ふるさと納税小国米寄付推移



前比412%
小国米の需要が伸びている

期待される「山形95号」





1 空き店舗の 利活用について



柴田伸也議員

商店街に賑わいを

柴田 10月にも中心部にある店舗が閉店した。町民からは落胆する声が多く聞かれる。空き店舗が目立ち「買い物弱者が多くなるのでは」と危惧する。町ではこの現状をどう捉えているのか。

町民生活への影響は認識している

町長 物価・資材の高騰、後継者不足などの人材難や、事業所が直面する課題の中で、小国町商工会によると今年度内に廃業、撤退することになった会員事業所は8件ののぼると聞いている。こうした状況は、町の魅力減退にもつながると捉えている。

柴田 空き店舗の利活用は。

町長 空き店舗は、個人の所有物であり、所有者の意向が反映されなければ、活用の道は閉ざされる。こうした店舗の所有者や意向などの情報も含めて、事業承継等の体制の中で共有し、利活用につなげていけるよう検討する。

柴田 中心商店街の活性化策は。

町長 中心商店街やその中核施設であるアスモを取り巻く環境は厳しさを増している。さらに、町民がアスモに求める声も多様化しており、真に必要な機能はどのようなものか早急にとりまとめていく必要がある。このため「小国いきいき街づくり公社」が主体となり、アスモの機能再構築と町づくりの視点に立った活性化の方策を調査する。

柴田 アスモの1000円ショップ空きスペースを子供の遊び場として、整備できないか。

町長 利活用の前提として、所有者の「協同組合小国ショッピングセンター」の了解が必要となる。アイデアとしてはいいが、様々な

制約等もあり難しい。イベント的な仕様や期間限定の賑わいづくりのため提案をいただければ、協同組合も歓迎すると思われる。その際には、町や、いきいき街づくり公社にも相談をいただき、一緒に進めていくことが望ましい。



▲子供の遊び場として利用を望む

1 日本一を維持する 施策が必要



こせきかずよし
小関和好議員



日本一を維持する施策を



小関 小国町のわらびは自他ともに認める日本一の特産品である。

しかしながら、集荷する業者・買い取る業者が減少し町外へ売却されている状況である。町長は以前の質問の答弁で「採る人・集める人・売る人のシステムづくりが大事だ」と答えていた。その後、今後のわらび及びわらび園に対しての行政のかかわり方についても聞きたい。天童の

将棋や寒河江のサクランボのように町を挙げたの対応が必要な時期ではないか。

関係者と支援策を検討していく

町長 産業振興課、観光協会、地域総合商社が山菜の事業者の方から状況を聞いたところ、小国の山菜が全国的に高く評価され山菜の需要は依然として高いとのことだった。

「わらびを採る人、集める人、売る人のシステム」に加え「食べる人」を増やしていくことがもう一つのポイントである。

わらびは、キャベツの約1.7倍の食物繊維を含み、ベータカロテン・ビタミンE・カリウムが多く含まれており、健康面の観点からも優れている食材である。今後もわらびの味

や良さをPRしていきたい。

今年度の観光わらび園入込者数は、8ヶ所が開園し4597人であった。5年前と比べると2園減り3896人の減少となっている。人口減少や高齢化により運営形態は変化しており、地域外の方の力

を借りるなど担い手を確保している。事務局を担っている観光協会を通じて、わらび園の課題や現況、将来の見通しなどを把握しながら支援策を検討していく。

その他の質問
交通事故危険箇所
の事故防止策について



維持運営が困難となってきたわらび園



1 素掘り流雪溝の 保全を早く



こばやし よしみ
小林 嘉 議員

コンクリート側溝に

小林 岩井沢踏切付近を横断している流雪溝は、素掘りのままのため地元利用組合は管理に苦労している。

15年前からコンクリート化を要望しているが実現していない。町はこの状態をどのように考えているのか。

JRと改善協議する

町長 現在、米坂線を横断する部分だけが素掘り側溝状態となっている。これは、米坂線敷設前の農業用水の形がそのまま残っているものであり、線路部分は小さな橋のようになっている。上下流が素掘りのためゴミが堆積しやすく、降雨時には流下機能の阻害箇所

ともなりえる。

解決には素掘り部のコンクリート水路整備が有力と思われる、当該箇所も過去にJR東日本に改善を求め、村上保線技術センターと協議し年間の線路維持費の中で水路化を模索した。今後も改善に向けて、JR東日本新潟支社と協議を行っていく。

改善協議を早急に

小林 早期改善に向けJR東日本新潟支社と協議を急いでほしい。実現に予算が必要であれば、町で対応すべきでは。

町の予算化が必要

町長 実現には計画協議から始まり、調査、測量、設計、実施協議、協定等の手順が考えら

れる。2〜3年の時間を要するものと思われる。経費は町負担になると想定される。

下流トラブル解消を

小林 流雪溝下流域の雪詰まり、民家車庫への水溢れなど毎年トラブルが発生しているが。

不具合箇所は改善する

地域整備課長 平等寺前十字路付近の600ミリ幅から500ミリ幅に分岐する箇所は形状を含め改善策を検討する。

また、民家車庫への水溢れは横に放出する分水機能を改善した。

非常時には、委託業者が事前対応出来るよう努力する。



素掘り流雪溝をコンクリート製に

議会運営委員会視察

令和6年9月26日～27日

まちづくりの
先進事例に学ぶ



宮城県利府町

「リノス」

図書館や公民館、多目的ホール・文化会館他からなる大型複合施設である。長い期間をかけ町民の意見が十分に取り入れられていた。近隣の自治体の中でも突出した利用率を誇っている。真に町民が必要とする施設として存在し、町民に寄り添う町政の姿勢が感じられた。本町の今後のまちづくり参考に参考すべき点が多くみられた。



町民の意見が取り入れられた複合施設

「tsumiki
(つみき)」

ワークスペースやカフェ、起業・創業などの相談の場など、個人団体を問わず誰でも使用できる空間づくりを目的に整備された。特に移住者を中心とした交流は活発で、新たな起業者は46人を超

え、サークルは5団体生まれている。町全体が活性化するためには、地元キーマン探しの継続が重要であると伺った。本町も移住者に対し大きな期待を寄せており大変参考になった。



交流に利用されるtsumiki

議会改革の
取り組みを学ぶ

宮城県柴田町

柴田町の議会改革の取り組みは、全国で優秀事例としてたびたび取り上げられている。徹底した議員間討議を行い、全員の意見が一致したものについて政策提言を行っている。

9月の決算審査を起点として、提言と検証を繰り返し全員が趣旨を正し

く理解することで円滑な議会運営を行っている。

本議会においても、やるべきことをしっかりと定め、全議員が共通の認識に立ち、各意見を建設的にまとめ上げたうえで執行部と向き合い提案していくことの重要性を再認識してきた。

全議員視察研修

令和6年10月15日～16日

福島県飯舘村

農業振興の 仕組みづくりを学ぶ

平成29年に避難指示が解除された後、村を挙げて農業・畜産の復活に取り組んでいる。村は国の交付金を活用し飯舘村振興公社を設立し、農業者を雇用するとともに農業機械を貸し付けるなど農業者の負担軽減に取り組んでいた。



確保は、本町においても喫緊の課題である。地域農業の維持は、町の景観保持にも繋がることから、多方面からの農業支援策

の取り組みの重要性を感じた。

また、国・県の事業を

宮城県富谷市

遊休施設の利活用と まちづくりを視察

「産業交流プラザ TOMI+（プラ）」

平成30年度に地方創生拠点整備交付金を活用し旧役場庁舎を全面改修し整備した。

地方創生プラットフォームとして活気あふれるコミュニティを創り、新しいモノやコトを生み出すほか、その想いをサポートできる施設を目指していた。中心市街地の活性化と次代を担う人づくりをサポートする目的で利

活用した戦略的な取り組みは本町の農業振興においても参考となった。



平成30年度に地方創生拠点整備交付金を活用し旧役場庁舎を全面改修し整備した。

「ビジネス交流スペース 荷宿（にやど）」

令和5年にかつての宿場町「富谷宿」で荷宿の歴史を持つ建物を改修し、オフィス及び地域交流の役割を持つ施設として整備された。

起業塾「富谷塾」の運営や新たな事業の創造や

地域産業の活性化を目指すビジネス拠点として活用されている。

富谷市のスローガンの「住みたくなるまち日本一」を実現するには「思いを叶える場所であれ」という視点のもと、起業支援に力を注いでいることが伝わってきた。町と地域住民が一体となって稼ぐ力を醸成することは本町にとっても大きな課題である。



観光交流スペース「とみやど」

議員研修

日時 令和6年10月3日

講師

国土交通省
北陸地方整備局
飯豊山系砂防事務所長
渡邊 剛 氏

砂防事務所管轄の工事現場ダムなどを説明いただきました。砂防ダムの形状と機能を説明いただき防災の取り組みを理解しました。



小玉川スーパー暗渠

置賜地方町村議長会研修会

日時 令和6年10月4日

演題

「次世代を担う
人材育成について」

講師

高島町商工観光課
鈴木 祐介 氏
齋藤 浩一 氏



質疑応答

関川村議会交流会

日時 令和6年10月11日

演題

「小国町の文化財
保護について」

講師

小国町教育委員会
蛭原 一平 氏

おぐにふるさと文化館百石にて現地視察を行いました。小国町の貴重な資料について説明を受けました。



議員研修

日時 令和6年10月25日

演題

「議会が守るべき政治倫理
ハラスメント防止と議会の取り組み」

講師

太田 雅幸 氏

演題

「議事機関としての
質疑質問とは」

講師

一般社団法人
地方公共団体政策支援機構
上席研究員
長内 紳悟 氏



ビッグウイングにて研修

西置賜地区市町議会
連絡協議会定例総会

日時 令和6年11月22日

演題

「西置賜地区を未来都市へ変える
先進モビリティ技術の開発」

講師

電動モビリティシステム専門職大学教授
古川 修 氏

米坂線復旧署名簿を届ける!

JR米坂線復旧小国期成同盟会報告

「JR東日本新潟支社」と

「国土交通省北陸信越運輸局」へ

山形県知事・

新潟県知事へ

11月11日に米坂線整備促進期成同盟会（仁科洋一会長）とともに要望活動を行い、皆様からの署名を直接届けた。

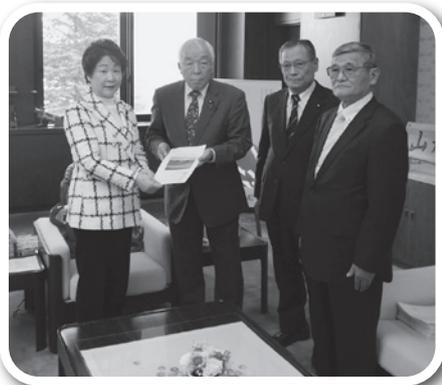
当日は沿線自治体首長とJR米坂線復旧をすすめる飯豊の会、JR米坂線復旧関川期成同盟会の会長が同行し、沿線首長からは米坂線復旧に対しての要望意見が出された。

署名を手渡す安部会長



国土交通省北陸信越運輸局への手交

12月18日（山形県）・25日（新潟県）に飯豊・関川の期成同盟会とともに要望書と署名を提出し、それぞれが復旧への想いを伝えた。



山形県 吉村知事



新潟県 花角知事

**有料広告
募集中**

「小国町議会だより」に
広告を載せてみませんか?

発行 年4回(2,900部、1月、4月、7月、10月)

金額 6,000円~30,000円

気になった方はこちらをチェック!

■ 問い合わせ先
議会事務局 (☎0238-62-2448)



がんばってます!!



プロフィール

氏名 國分貴光(21歳)
勤務先 小国町 除雪センター
趣味 車!

Q 除雪のお仕事を始めて何年目ですか?

A 小国高校を卒業後、すぐなので4年目になります。

Q 除雪のお仕事は天気によって左右されるし、睡眠時間は4、5時間とお聞きしましたが。

A はい。朝の通勤、通学時間帯前までには除雪しなければならなくて、時間に追われる感じはありません。積雪量のある時は、

朝2時から出勤が連日になることもあります。

Q 除雪中、気にかけている点は何ですか?

A 一番は人的被害があつてはならないということですが、あくまでも「道が相手」ということを考えます。道路の障害物や状況とか、その日の雪質も把握して臨機応変に除雪しなくてはいいけません。



Q 職場の皆さんと和気あいあいと楽しそうですね。

A 職場には同級生もいますし皆さん明るくて、いい方ばかりです。常日頃

から「安全第一」と指導されています。先輩の皆さんの除雪はとても上手で、きれいにドーザーを動かします。



Q 趣味は?

A 昔から「車」全般大好きで、最近では大型免許を取得しました。大型特殊は高校卒業後すぐに取りました。

Q 毎日大変ですが、やりがいを感じる時は?

A 除雪して道路がきれいになっていくのは気持ちいいし、除雪の最中に「毎日、ありがとう」と町の方から声をかけてもらうと頑張つて良かったと思いますね。

Q 社会人として思うことは?

A そうですね、若い世代が町に残ってくれない。将来同世代の仲間がいなくなるのでは? という不安があります。

Q これからの夢は?

A もっと除雪の技術を磨きたいですね。そして広い視野をもって、将来は新しいことに、たくさん挑戦していきたいです!

ありがとうございました。
(文責 間宮)

次は3月定例会です。傍聴にもぜひどうぞ。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62)2448

編集後記

凍てつく朝にちゅんちゅんと鳴く「ふくら雀」を見かけました。

羽毛の間に空気を貯めている雀は、ふくふくとしていふことから雀の異称として福来(ふくら)雀と呼ばれ、縁起物として振袖の伝統的な帯結びとしても知られています。

寒さに耐えながら生きていくそのけなげな姿に思わず応援の声をかけたくなります。生命あるもの全てに厳しい寒さを乗り越え、暖かな季節が巡って来ますようお願いするにはいられません。福来雀が町民皆さまの厄をついばみ、福多き一年となることをお祈り申し上げますとともに、議員一同町政繁栄に向けてより一層精進してまいります。

発行責任者

議長 安部 春美
副委員長 伊藤 弘行
委員 石山久美子
柴田 伸也
間宮 尚江
小関 和好
遠藤 和彦

副委員長

委員

委員